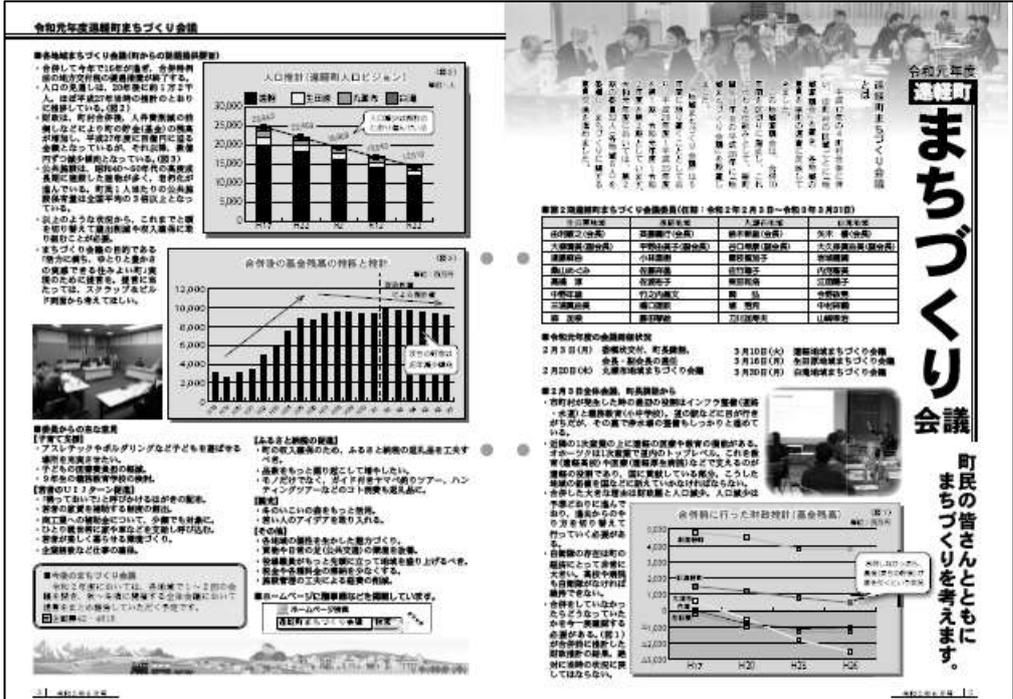


第 1 回遠軽地域まちづくり会議議事録

日時	令和 2 年 8 月 3 日 (月) 18 : 30 ~ 21 : 20	
場所	遠軽町福祉センター 2 階 2 号会議室	
出席者	齊藤会長、平野副会長、竹之内委員、藤田委員、小林委員、佐渡委員、佐藤委員、総務部企画課 今井課長、中原主幹、林係長	
欠席者	橋口委員	
次第	発言者	発言要旨
1 開会	企画課	ただ今より令和 2 年度第 1 回遠軽地域まちづくり会議を開催する。橋口委員から欠席の連絡をいただいている。以下の議事進行について、会長に願います。
	会長	最近全国でコロナウイルスが広がっている。この会議もようやく開催することができた。遠軽でも陽性者が出て風評被害の状況もあるが、まちづくりのために活発な提案をよろしく願います。
2 報告事項	会長	報告事項について役場企画課から説明願う。
	企画課	<p>広報えんがる 6 月号に令和元年度まちづくり会議について、記事を掲載した。</p> 

- ・ 2 月 3 日の全体会議で委員 32 名を第 2 期委員として委嘱、町長から講話をさせていただいた。
- ・ 右ページに合併前に行った財政推計についてグラフに示している。各地域は本当ならば財政破綻とも言えるような状況だった。絶対に当時の状況に戻してはならないということをお伝えした。
- ・ 2 月 20 日 ~ 3 月 30 日に地域ごとの会議を行った。生田原は 3 月 16 日に開催

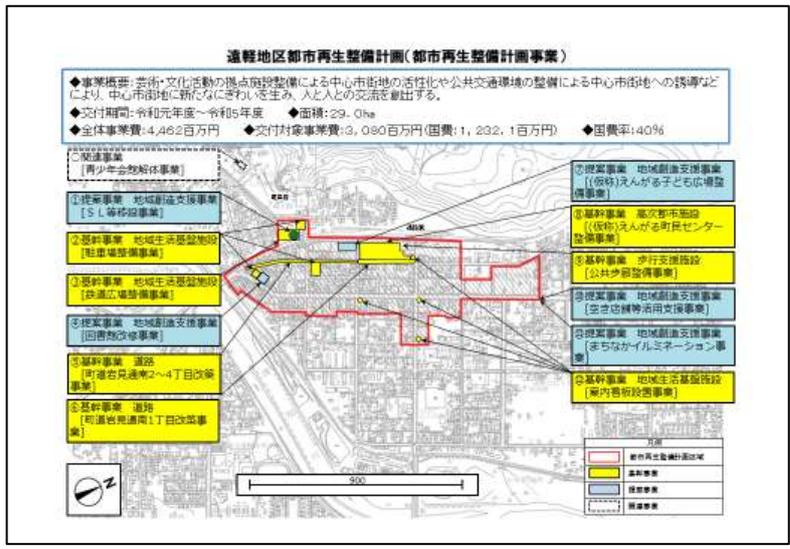
した。

・町からの話題提供においては、人口減少の状況、財政の状況、公共施設の状況についてお伝えした。

・各地域会議においては、「子育て支援」「若者のU I J ターン促進」「ふるさと納税の促進」「観光」その他で「公共交通」「役場職員の問題」「行政の無駄を省く」などの意見が出た。

企画課

遠軽地区都市再生整備計画について計画事業の概要及びスケジュールについて次の資料に基づき説明した。



事業スケジュール

※スケジュールや整備内容は変更になる場合があります。

事業区分\事業年度	R1	R2	R3	R4	R5
町道若見通南1丁目改築事業 [若見通南1丁目]	改築・舗装	改築・舗装	舗装		
町道若見通南2～4丁目改築事業 [若見通南2～4丁目]	調査設計		改築・舗装	改築・舗装	
鉄道広場整備事業 [西町1丁目(西町駐車場)]			調査設計	改築・広場整備	改築設備
駐車場整備事業 [福祉センター・高齢者むかひ・図書館]	駐車場・経路設計		調査設計	改築・舗装	改築設備・舗装
案内看板設置事業 [若見通南1丁目ほか]			案内看板設置	情報案内設置	
公共歩道整備事業 [若見通南1丁目]	改築・舗装	改築	改築		
(仮称)えんがる町民センター整備事業 [若見通南1丁目]	改築・舗装・照明	改築・外構整備			
図書館改築事業 [大通南4丁目(遠軽町図書館)]			設計		改築
空き店舗等活用支援事業 [計画区域内]	改築	改築	改築	改築	改築
(仮称)えんがる子ども広場整備事業 [若見通南2丁目(旧かあーらい)]			設計	改築	
まちなかイルミネーション事業 [計画区域内]	整備		整備	整備	整備
SL等移設事業 [西町1丁目(西町駐車場)]				駐車場移設	SL移設

会長

芸術文化交流プラザの完成はいつごろになるのか。

企画課

だいたい1年遅れて令和4年3月に完成する。建設課で精査中である。

会長

オープンまでには色々な団体との話し合いはあるのか。

	企画課	開館事業の運営委員会を立ち上げている。建設検討協議会、文化連盟に対しても1年遅れることへの調整をかけている。遠軽高校の周年記念事業の予約があったが時期をずらすこととした。
	委員	まちなかイルミネーション事業のふれあいパークにあるスペースプレイヤーの活用について、今後考えはあるか。
	企画課	イベント時などにライトアップをしたいと考えている。地面や噴水などへの投影もできるので観光PRなどにも使いたい。
	委員	こういうことに使ってほしいということを町に要望を上げることはできるか。
	企画課	商工観光課に言っていただければ検討する。
	会長	まちづくり会議の説明の中で、公共施設の保有量が全国平均の3倍以上で維持費もかかり、老朽化しているとのことだが、東町の基幹集落センターは合宿などに使うためにトイレの改修が必要だと思う。
	企画課	人口が減る、基金も減る中で財政的には改善が必要な状況。新しい施設もできるので、全体的に公共施設のあり方を見直す必要がある。
2 議事 (1) 若者が住みたくなる、住み続けたいまちづくりについて	企画課	<p>遠軽地域の課題・特性・背景についてこれまでの議論に基づいて以下のとおりまとめた。</p> <div data-bbox="432 1077 1166 1487" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">遠軽地域の課題・特性・背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少 合併時18,254人→現在15,975人(△13%) ・新町の一体感と各地域の特色を生かしたまちづくり ・家賃水準が高い ・高校卒業後に町を離れる子どもが多い ・子ども・若者の視点を入れたまちづくり ・スポーツ合宿の受け入れが盛ん ・高規格道路遠軽IC開通と道の駅開業 ・メトロプラザ、中心市街地整備 ・新しい日常、アフターコロナ対応(臨時交付金4.6億円) </div> <p>前回のまとめ、今回の討議テーマについては次のとおり。</p> <div data-bbox="432 1547 1166 1957" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">前回のまとめ(今回の討議テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みたくなる、住み続けたいまちづくり ・合宿誘致を促進する ・ふるさと納税を促進する(返礼品充実) </div>

若者が住みたくなる、住み続けたくなるまちづくりの検討例を次のとおりまとめた。

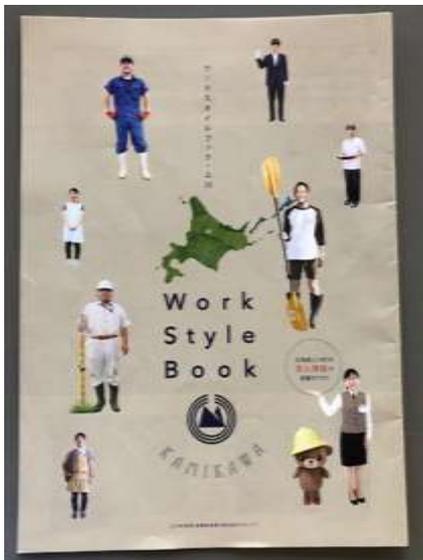


参考に家賃補助を実施している自治体（栗山町、長沼町、四万十町、竜王町）の資料を添付した。



検討例を参考に若者が住みたい、住み続けたいまちづくりへの具体的提言をまとめていただきたい。

会長	地域おこし協力隊の移住実績はあるのか。
企画課	今、遠軽町に4名いる。協力隊員として3年間活動していただいて、定住してもらうという流れで進めているが、3年間満了した方は今までいない。今いる人は任期を満了していただき、仕事を見つけてもらい定住につなげていきたい。
委員	町のホームページがリニューアルされて見やすくなった。その中で飲食店のテイクアウトをアナウンスしたりし、町の中にいる業者をピックアップして視覚的に載せている。同じように町内の求人も若者に伝わるように紹介すると、遠軽にはこんなに仕事があるということが伝わる。つかみのところで遠軽町を見てもらうことが大事。アフターコロナの中でテレワークが広がっているが、遠軽町は災害が少ないので「遠軽に住みませんか？飛行機を使えば、3時間半ぐらいで東京にも行けますよ」ということでPRするといい。
会長	ハローワークで求人情報をホームページで発信しているが、若者の就職はどうなっているのか。テレワークのPRについてもコロナの交付金を使ってできないかということだった。
委員	協力隊について、なぜ任期満了にならなかったのか。
企画課	仕事の価値観が自分の求めていたものと違っていったというのがほとんど。あとは、個人的な事情という方もいた。詳しい分析もしていく必要がある。
企画課	辞めた方は今まで6人ぐらいだが、辞めた理由は一人ひとり違う。共通の要因があるとしたら、協力隊は3年間しか雇用できない中で、その後どうするところを示してあげられなかった。だんだん卒業が近くなるとこの後どうしようと感じるようになる。ただし、遠軽からは出て行ったが、本州から来て北海道には残っている方も数名いる。また、来てから自分が進みたい方向の仕事が見つかったという人もいる。来なけりゃよかったという思いで去っていった人はそんなにいないと思っている。ただ、3年経った後にこうやって遠軽に定住してくださいというも

	のをもう少し示してあげる必要があると感じている。
会長	白滝の方で地域の魅力を発信してくれている方がいるようだが。
企画課	御主人といっしょに来て就農を目指している。卒業後は2人で農業プラスアルファ何かという活動をしていただいている。 各隊員とは、卒業後はこういう方向もあるよということと話しながら進めている。人によって仕事をお願いした方がいい人がいたり、全部自分で決めてという人がいたり、違いがあるので難しい。これが正解というものがない。
会長	農家で働きたいという人が定住につながったというのをテレビで見た。そういうPRも大事。
企画課	上川町で作っている上川ワークスタイルブックという冊子が委員のイメージと近いと思うので、参考に皆さんに回覧する。
	 
委員	町に来てもらうのに情報を出さなくてはならない。情報を絞り込んでもいい。町が特に困っていることなど明らかなビジョンを示してあげないとわかりにくい。例を挙げると厚生病院の医師の確保。今回の交付金も医療従事者のフォロー、2波、3波に備えた設備更新などに使えないか。
企画課	病院関係は交付金の使途としてある程度出てくるのではないかと思う。
委員	医療従事者は今回のウイルス対策で大変な思いをしている。応援してあげたい。
企画課	全体会議の町長講話でも病院と高校が大事だという話をしていた。町としては政策的に大きなウェイトを置いている。具体的に何をすることが問題。
委員	准看護学校があったが、なくなってしまった。残っていれば就職先として良かったのではないか。
委員	(上川ワークスタイルブックを見て) これは、住んでいる人がどんなことをしてい

		るか分かる。これが方向性ではないか。
委員		こういう人に来てほしいというのを出してあげた方がいい。今、都会の人は地方に来たがっている。
企画課		それもうまくやればアフターコロナとなると思う。
委員		お金を払ってこれだけのもの（上川ワークスタイルブック）を作ってくれるなら払ってもいいと思う。
委員		移住モニターのようなことをやっていなかったか？
企画課		お試し暮らし住宅というのをやっている。ただ、これまではホテル代わりに使われていて移住につながらなかった。昨年見直して町内で仕事をしていただく方に貸すとした。昨年利用は2つの住宅でそれぞれ1~2件だが、全て移住につながった。
会長		お試し暮らし住宅とは違うところで？
企画課		そう。お試し暮らし住宅は最長6か月までとしている。
委員		やはり生活の基盤となる仕事が付いていないと。
企画課		町内事業所に就業という条件にしているが、今ならテレワークでもいい。
委員		遠軽でものづくりしているような人はいないのか。後継者がいないような。
企画課		農業がそれに当たるかもしれないが、実はそんなに農地を譲るなどの話はない。就農したいという人は結構いるが、農地を譲ってくれるという話はたくさんあるわけではない。
委員		農家に後継者がいないと聞くが・・・
企画課		農地を簡単に手に入れることはできないようだ。酪農となると初期投資が高くてハードルが高い。ただ、働き手、従業員は不足していると聞く。
委員		募集していてもなかなか来てくれないようだ。
企画課		コロナで外国人技能実習生が来れないということで困っているという話も聞く。
委員		働くところはあるのだろうか。
委員		人手不足で困っているところは多い。業種は別だが・・・
企画課		この地域の雇用にはミスマッチがある。農業とか介護、建設業は人手不足だが、事務は求人が少ない。高校生が卒業後に出て行ってしまうというのもそういう部分がある。
委員		今の高校生はアルバイトをあまりしていない。仕事に触れる機会が少ない。
会長		後でまとめるが、パンフレットの作成、お試し住宅の利活用などが出た。
(2) 合	会長	(2)の合宿誘致について説明願う

<p>宿誘致について</p>	<p>企画課</p>	<div data-bbox="435 194 1153 607"> <h2 style="text-align: center;">2 合宿誘致</h2> <ul style="list-style-type: none"> ・施設面 ・金銭支援 ・誘致活動 ・地元との交流  </div> <div data-bbox="435 667 1153 1070"> <p>【合宿誘致のための提言】</p>  <p>遠軽町の特長や条件を生かした中でどうやったら、より合宿が誘致できるのか検討願う。</p> </div>
<p>会長</p>		<p>メトロプラザ整備までは青少年会館は使えるのか。ホテル・旅館を使う方がいいが、中学生・高校生はこうした公共施設を利用することが多い。</p>
<p>企画課</p>		<p>メトロプラザの整備によって、これまでなかった音楽ホールができるので売りにできる。遠軽高校など吹奏楽が盛んなので、そのつながりで全国から呼べる可能性がある。ただ、吹奏楽となると70人ぐらいが来ることになるので宿泊についても確保が必要。ロックバレースキー場についてもナイター、サマーゲレンデなどの環境整備により合宿受け入れの可能性が高まる。色々な意味で新しい取組がこれから始まると思う。</p>
<p>会長</p>		<p>道の駅の子ども中心の遊び場などはPRされているのか。</p>
<p>企画課</p>		<p>今CMを作っている。</p>
<p>委員</p>		<p>STVラジオでアクティビティの紹介を始めている。テレビ番組でも取り上げられた。ツリートレッキングについてはいい宣伝ができています。</p>
<p>委員</p>		<p>コロナ禍の中、情報発信が重要。発信のしかたも大きな費用をかけないとだめだと思う。遠軽町のホームページも良くなった。テイクアウトのページなどはなぜ事業者さんがもっと登録しないのかと思う。情報発信に投資すれば良くなると思う。会</p>

		議所でも5月から会員への情報発信を一部メールにした。情報発信は時間も大事。惜しみなく交付金を注ぎ込むといい。遠軽町の大型免許の取得費用補助とか店舗近代化の補助、空店舗等活用支援事業などをちゃんと周知して、信金さんの制度融資などを絡めればいいと思う。東京圏から引っ張ってくる必要があるので、お金をかけて情報発信をしてほしい。
	委員	今まで見てなかった層の人もホームページを見るようになった。
	委員	ふるさと寄附金でも、常に見てテレフォンショッピング化している。今日の項目で共通しているのが情報発信。ここをいい加減にしてはいけない。
	委員	広報はすごく大事。北見のスキー場関係者にファーイーストカップを遠軽で開催することを言っても「なにそれ？」という話になったことがある。やはり広報のしかた次第。
	委員	ツリートレッキングのCMでも民間企業のものかと思ったら遠軽だったの？となる。お金はかかるが、この状況下、余計に発信していくこと、伝え方が大事。
	会長	今年はコスモスフェスタの情報発信はどこまでやるのか？
	委員	8月6日にコスモスフェスタ委員会が開かれ、そこで最終決定となるので、あまり言えないが、やるにしても例年のように歌手を呼んでだとか、広く町外に向けてという規模のことはできないと思う。 合宿についてだが、宿泊に対する助成はあるようだが、交通手段に対するものはあるのか？例えば町内の移動とか。
	企画課	苫小牧まで職員がバスで迎えに行くなど聞いている。町内の移動の支援もある。
	委員	合宿の際の移動は大変だと思うので支援があるといいのではないかな。
	企画課	空港からの移動の費用に対する助成もしている。
	委員	合宿誘致の目的はお金を落としてもらうことだと思う。ならば、ターゲットは学生よりも社会人ということになると思う。圧倒的に落としていくお金が違う。ただ、ここの設備で社会人が満足してもらえるかはノウハウがないのでわからないが。
(3) ふるさと納税の促進について	会長	次の話題について、説明願う。
	企画課	<div data-bbox="432 1626 1166 2031" data-label="Complex-Block"> <h3 style="text-align: center;">3 ふるさと納税の促進</h3> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ R1年度実績 約2,340万円 ・ 滞程率は超過超過？ ・ 総別率は70億円超 ・ 返礼品は約50品目 ・ R2、4～、(株)だいいち水産加工品を返礼品に追加 ・ R2年度から受付事務を商工会議所に委託(道内初) ・ 企業版ふるさと納税受け入れ開始R2.7～ </div> <div style="width: 55%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 返礼品の充実 ・ 企業版ふるさと納税 ・ PR方法 </div> </div>  </div>

	<p>返礼品の 1 番人気はアスパラだが、生産量はこれ以上増やせない。伸ばしていくには他の返礼品を伸ばす必要がある。</p> <p>企業版ふるさと納税については、いこいの森を森林鉄道の聖地にするプロジェクトで募集している。企業にとっての税制優遇も今年から拡充されている。</p> <p>返礼品の魅力化、返礼品に頼らない寄附の獲得（ストーリーづくり）、PR方法についてアイデアを求めたい。</p>
会長	かぼちゃを使った商品があるといいと思う。皆さんから何かないか。
委員	「無添加」とふるさとチョイス（寄附受付サイト）で検索すると吉川さんのベーコンが上位に出てくる。本当は町を応援してもらおうという制度だが、返礼品として特産品の消費にもなるので、返礼品の充実とPR広報は大事。「無添加」などキーワードで引っかかるとか、写真の枚数を増やすとか、外に向けた情報発信にお金をかけないと、広告費を出した分入って来ると思ってやらないと。だいいちさんのホタテとたこスライスは、非常に知名度が高い。紋別のものにも勝てるのではないかと考えている。
委員	受付サイトの割合はどのような感じになっているのか？
企画課	今、2つのサイトしか使っていない。「ふるさとチョイス」というのが8割、残りが「ANA」と直接申し込み。
委員	今、町のホームページではふるさと納税のバナーが小さく、下の方に動いて表示される形になっていて、見づらく、探しにくいと思う。また、返礼品ページについても金額別にしか見ることができない。一覧があった方がいい。
企画課	一覧は、リストをPDFでダウンロードして見ていただくようにする。確かに見やすくはないと思う。
委員	会議所もホームページを新しくする話をしているところ。飲食情報の更新、テイクアウトのページも引き継いでやろうと思っている。PR方法次第で絶対変わる。タコでも調理した後の写真を載せることで引っかかってくれる。ファックスなどの申し込みは1割弱。9割がネットでの申し込みなので、そこで勝負をかけるべきだと思う。
企画課	楽天のふるさと納税については、近いうちに募集開始になると思う。あと、最近も話題になったが、昨年7月から指定制度が始まった。寄附金に対する返礼品の価格の割合を3割までとするとか、返礼品と募集に要する経費は5割までとするなどと新たな規制がかかった。返礼品についても、地元で作られたか、地元で材料が作られている物に限られるようになった。
委員	前回話題にした熊の爪（加工品）を持ってきた。本州の方にはお守りの意味もある

	<p>ようで、ある所で飛ぶように売られている。猟友会のメンバーが打った熊の爪を加工しているもの。安定して供給できれば珍しい。</p>
企画課	<p>ふるさと納税の返礼品は小口対応となる。発送もしなければならない。そこに対応できるかというのも一つの条件になってくる。</p>
委員	<p>返礼品になるかわからないが、遠軽町の特長を生かした商品でコスモスの花びらのジャムを山梨から取り寄せてみた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>九州の朝倉市では、町を挙げてコスモスを食べようということで商工会議所を中心にドレッシングを作ったり、ジャムを作ったり、各お店でもコスモスを使ったメニューを作ってスタンプラリーをしてということ乙女の真心プロジェクトということでやっている。このようなことができないだろうか。自分でも桜の花びらでジャムを作ってみた。花びらと砂糖とクエン酸があれば作れる。花びら特有の苦みがあるが、それが大人っぽい味を出している。コスモスも作ってみようと思っている。朝倉市にコスモス園があって、見てもらってから花びらをちぎって商工会議所婦人部の方がそこで作る。毎年好評のようだ。</p>
委員	<p>道の駅でもピーツのカレーを作った。商品化するというのが大事。</p>
委員	<p>コスモスはきれいな色が出せるようだ。炭酸水でもいいかもしれない。お土産にもいい。</p>
委員	<p>これも見せ方、パッケージも重要。</p>
委員	<p>ハンティングツアーもいい。体験型というのも大事だと思う。</p>
委員	<p>増やすのであれば、道の駅の商品券でもいいし、ツリートレッキングでもいい。</p>
委員	<p>メトロプラザの大ホールが借りられるというものもあっていい。</p>
委員	<p>募集がなくてもいいから、話題性のあるもの。どうやって見てもらえるかしかけづくりになる。</p>
委員	<p>できるかわからないが、昆虫館で生まれた虫の里親になってもらい、動画を送るなどしたら面白いのでは。あとはどう組み立てるかわからないがスイッチバック体験。東京の人は大体遠軽町のことは知らないが、鉄道マニアだけは知っている。</p>
会長	<p>熊の爪を入れるとすれば、どこに発注する？</p>

	委員	今、協力隊に返礼品を考えてもらっているが、過程を踏んで元締めをどこにするかまで計画して、各地域の資源を使いながら組み立ててくれている。だから注文が入れば皆売り上げが出る。熊の爪もそういう形で取り組んでいただかないとだめだと思う。誰が磨きを入れて、誰が穴をあけて、発注先まで決めてそこで3割くらい取れるようにして値段を決めるというように組み立ててもらえるといい。
(4) 公共施設の見直しについて	会長	では、次に公共施設の見直しについて説明願う。
	企画課	<div data-bbox="432 524 1166 936" data-label="Complex-Block"> <p style="text-align: center;">4 公共施設見直しの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口規模に合わせる ・類似施設を統合 ・「新しい日常」への対応 ・使いやすさの向上 ・維持管理費の縮減 <p style="text-align: center;">※「今まで」から切り替え「これから」を考える。</p>  </div> <p>・遠軽地域公共施設一覧表を資料として付けている。ただ、この資料には利用者数や維持費、収入などまでまとめ切れていない。このデータでは具体的な議論は難しいと考えている。</p> <p>・今後の議論ということで、情報提供にとどめる。</p>
	会長	旧遠軽小学校の利活用は何かないのか。あともう一つ瀬戸瀬温泉の利活用が図れないか。
	企画課	遠軽小学校の建物については未耐震のため活用のしかたが制限されるところがある。
	企画課	体育館は耐震だが、校舎については未耐震となっている。
	委員	買ってもらうことも活用の一つ。「切り替える」「これから」という観点で全て見方を変えなくてはならないと思う。テレワークで人が入って来てもらうと人口も増える。壊すにもお金がかかるなら、安く売って、使ってくれるところがあるかも知れない。これだけの施設があるというのを発信することが必要。地域の人もなくなることに抵抗はあるかも知れないが、使ってもらうことには抵抗が少ないと思う。
	企画課	町では「公共施設総合管理計画」という計画を作っていて、公共施設に関して大雑把な方針を持っている。使わない施設については、売るとか、壊すということなるべく速やかにしましよとしてしている。壊すのはお金がかかるので手を付けられていない部分があるが、なるべく使っていただく、売るというのは進めて行った方がいいと考えている。
	委員	写真だけだとわからないので、動画にして、ドローンで上からも撮って立地も見せ

		て、一つ一つ施設ごとに宣伝広告して発信してはどうか。買って直して使ってもらおうというもの、今なら都市部から地方に移って来たい方がいると思う。見せる、どうやって伝えるかが大事になっていると改めて感じている。
	企画課	白滝でもこの中でどれが売れて、これは売れないとはっきり示してくれという話が出た。また、役場の中でも所管課は売りたいがらないという面もあると思うので、行革方向から進める必要もある。
4まとめ	会長	コロナ対策の交付金について、遠軽町では連泊に対する補助だとか、事業者に対する給付だとか、医療従事者に支援するとかの計画はあるのか。
	企画課	多分、今言われたような事業は最初に上げた計画2億数千万円分の中に載っている。今回、更に追加で配分されてきている。国の第1次補正予算が組まれたときに、全国で1兆円生まれ、第2次で更に2兆円追加され、合わせて3兆円になった。それを人口などの要素で遠軽町に配分される額が4.6億円になった。STAYえんがるキャンペーンなどについては、第1次補正予算の時に提出した計画に掲載している。それで2億円ちょっとくらいの金額になっている。今回更に交付金の配分があり、9月いっぱいまでに国に提出する。町の補正予算を議会に通さなくてはならないので、近々どんな事業をやるか結論を出さなければならない。国のお金が当たるのでやりたいことをやるチャンスとなっている。
	会長	交付金を利用してお試し住宅を作ることにはならないか？
	企画課	アフターコロナに対応するため・・・という理屈が立つかどうか。例えば、テレワーク、ワーケーションを推進するための住宅を整備しますというように。
	会長	時間なので、まとめに入りたい。全体会議で発表をしなければならない。もう一回やるか。
	委員	3月以来で間も空いたのでもう一回開催してはどうか。
	委員	まだ、提言がまとまっていない。
	企画課	若者の住みたいまちづくりということでは、家賃補助については既に提言のレベルになっていると思う。あとは、情報発信のことについて話が出ていた。それは合宿誘致やふるさと納税のところでも重なって出ていた。
	委員	今回、テレビCMを製作したが、どんどん使った方がいい。これまで冊子などの媒体が多かったが、動くものの方が目に入って来る。
	企画課	情報発信ならば、どういうターゲットにどういう媒体で届けるかというところまでほしい。
	委員	公共施設ならば、企業に買ってもらうために動画で発信する。
	会長	ふるさと納税もネットショッピングみたいに見やすいと、やってしまう。

委員	紋別も間違いなくふるさと納税によって商品が動いている。カタログショッピングになっても出ていくことには間違いはない。
企画課	先日、協力隊が紋別に行って話を聞いてきた。遠軽のサイトには1枚しか写真が載っていないが、カタログショッピングなのでたくさん写真があった方が選んでもらいやすいとのアドバイスを受けた。写真も力のある写真の方が魅力を伝えられる。写真一つを取ってもお金を使えば効果がある。
委員	そういったところにお金をかけるのは大事。
委員	遠軽でユーチューバーやSNSで発信している人はいないのか。
委員	企画課がやっている芝桜のユーチューブ動画はすごく良かった。
委員	昨日、インスタグラマーを道の駅とちゃちゃワールドと瞰望岩をエスコートした。11万人ぐらいフォロワーがいる方。8月10日ぐらいから発信してくれることになっているので、その効果を見たいと思っている。
企画課	遠軽にもユーチューバーは結構いるようだ。
委員	広報で募集するなどして、そういう人たちに発信をしてもらっては？
委員	町の動画発信がホームページ刷新から新しい発想が出て楽しみにしている。
委員	前回お話した南中学校生徒とまちづくり会議コラボは校長先生も前向き。コロナの関係もあるが、実現できたらなと思う。学校も今までよりもっと地域と関わろうという方向になっている。子どもたちは実際の遠軽町のことが分からないため、ただただ夢物語ばかりになってしまう。でも、それは私たちが忘れていた感覚なので、意見交換でいいものが見つかるかも知れない。子どものうちに遠軽のことを考えることで、一度出て行っても遠軽に戻ってくる子が今より増えるのではないか。
会長	9月中旬～10月上旬でみなさんの都合のいい日にもう一回やることとしたい。その際には、若者が住みたくなるパンフレット、お試し住宅、ふるさと納税の返礼品、その他情報のことで何か考えてきてもらいたい。
企画課	町民センターについては、新型コロナウイルスの影響で工事が1年間延長となった。基礎防振工事を扱う神奈川の業者が道内入りできず、そこから色々な工程に波及が出て最終的に1年延びることになった。令和4年夏ごろのオープンとなった。ご迷惑をおかけするがご理解願う。
5 閉会	企画課 これをもって会議を終了する。

21 : 20 頃終了